かさおか Photo ウオッチング

▶スイカの顔とにらめっこ

８月５日、本通り商店街で「スイカ灯籠祭り」が開催されました。

参加した子どもたちは、大きなスイカの中身を取り除き、甘いスイカを堪能。その後、スイカの皮を切り抜いて、目や口などにしていきました。でき上がったスイカ灯籠は飾り台に設置され、中にろうそくを入れて完成。個性豊かなスイカの顔に幻想的な灯りがともりました。

この企画は、笠岡商店街の店頭装飾に取り組む「彩会」が、笠岡市市民参画推進事業として催したもので、来年以降も夏の風物詩として定着するよう続けていく予定です。

◀手を取り合って防災体制の強化を

このたび、笠岡市と社団法人岡山県建設業協会笠岡支部38社が、災害発生などの緊急時に応急対策を図るための協定を結び、８月５日に調印式を行いました。

これは、昨年の高潮被害の反省から迅速な対応を図るために結ばれたもの。同支部の各加盟事業者は２００袋の土のう袋を常備し、災害が発生したときや発生する恐れのあるときなどに、いち早く現場で作業にあたります。

▶夏の夜空を彩る大輪の花

笠岡の夏の風物詩、笠岡港まつり花火大会が７月30日に開催されました。

「祝　晴の国おかやま国体」の字幕花火がオープニングを飾り、大玉や水中仕掛け花火、二百五十連発の超早打ちなど、例年より多い四千発の花火が夜空に咲くたびに、会場一帯は大きな拍手と歓声に包まれ、夏の涼を求めて集まった大勢の観客の目を楽しませてくれました。

かさおか夏祭りダイジェスト

美の浜地区（8月6日）

島の盆～白石踊（8月14日）

大島の傘踊り（8月14日）

▶白石踊と大島の傘踊りをかたどった「行灯（あんどん）」
川相次男さん（入江）作

吉田地区（8月6日）